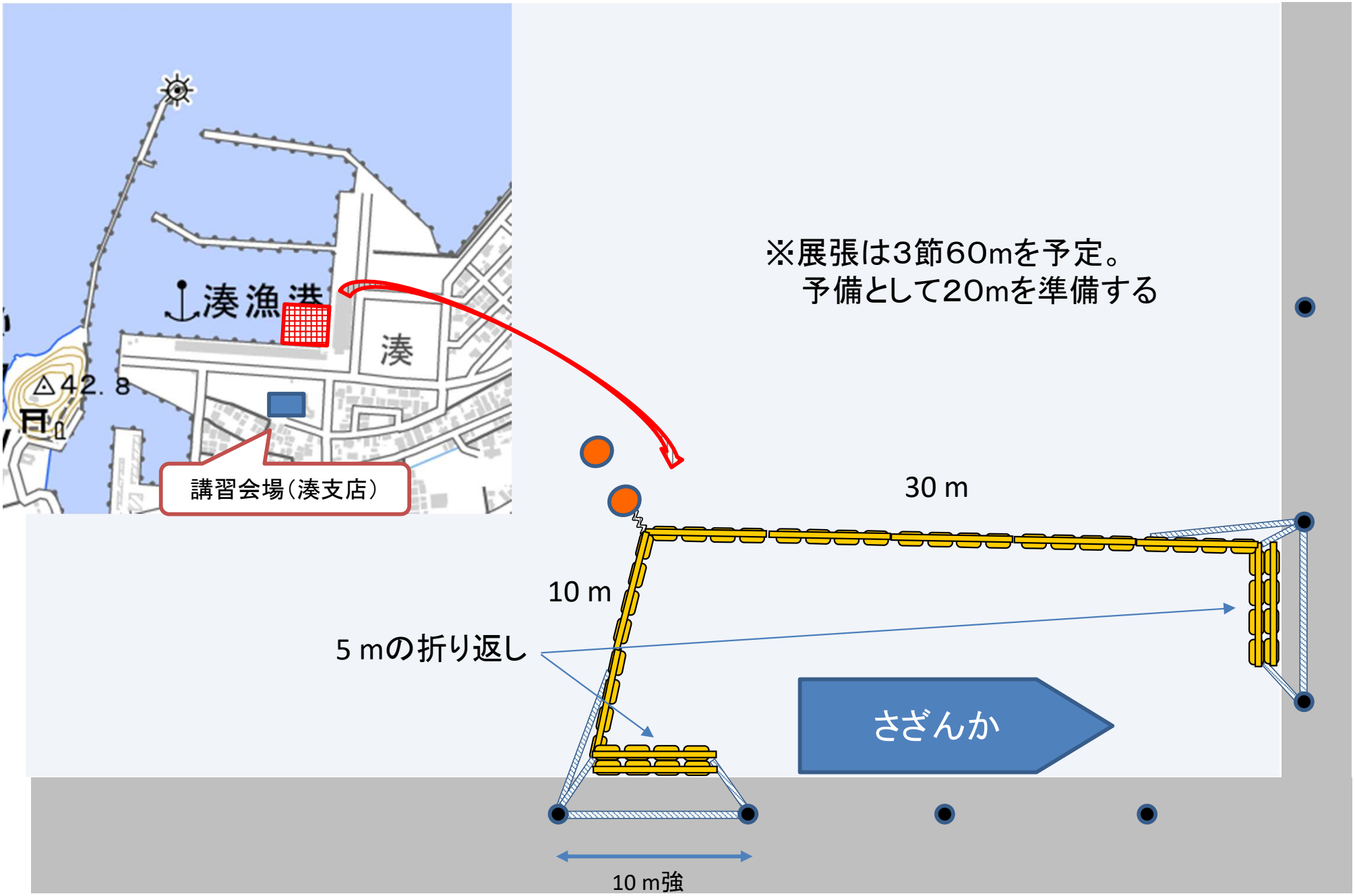
オイルフェンス展張訓練

オイルフェンス展張完了図



作業予定

【事前準備】

- 簡易オイルフェンス60mを連結
- 固縛用ロープ、ブイ錘等をオイルフェンスに取り付け
- 係留索のクリッピング
- ビット間ロープ設置
- その他資器材（針金、ラジオペンチ、ナイフ等）

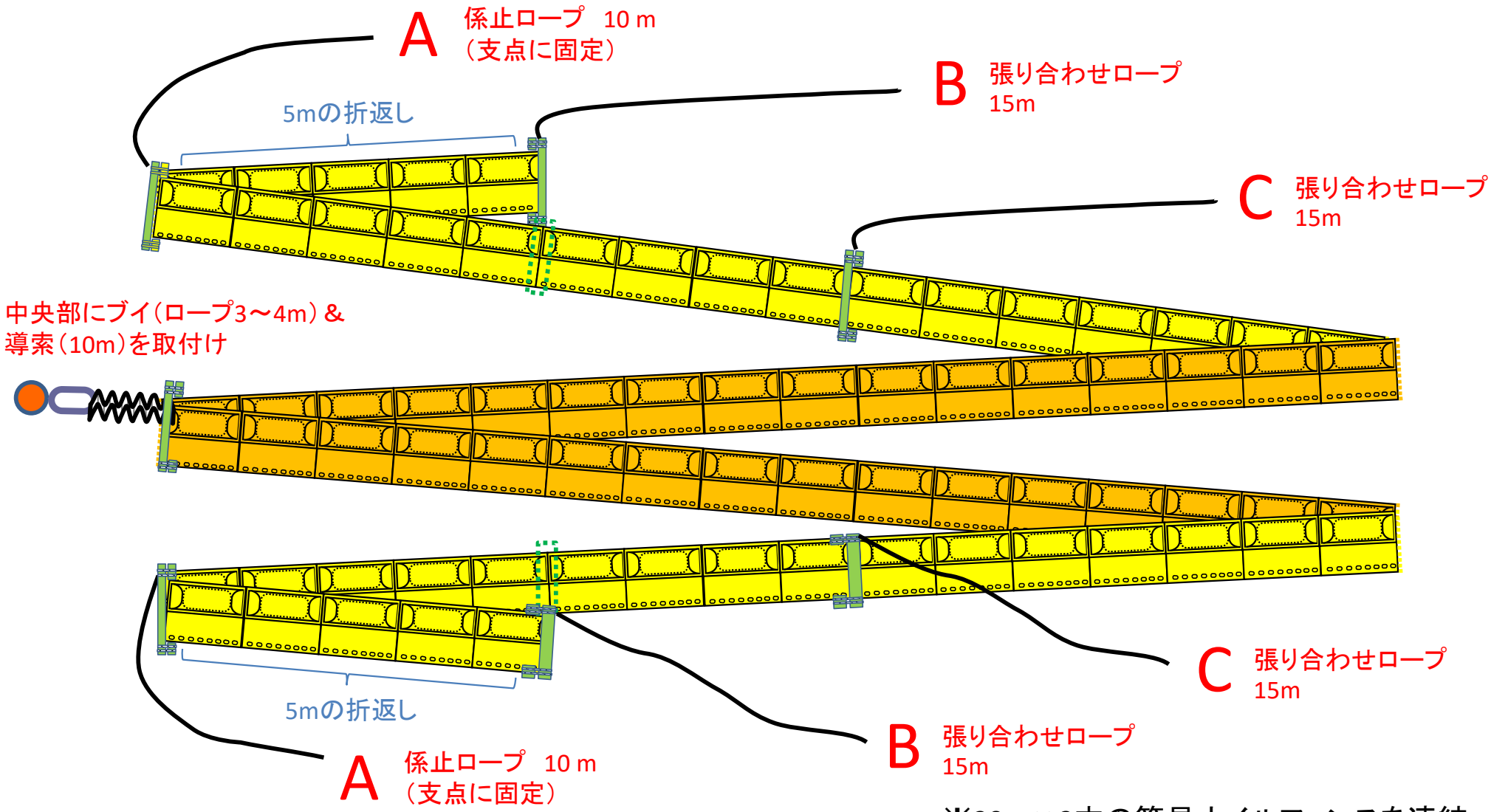
【展張作業】

- 排防協会員によるオイルフェンス連結作業、折返し部分作成
- オイルフェンス海上への降下、曳航
- オイルフェンスの展張
- 撤収（オイルフェンス等を海面から岸壁へ引上げ・洗浄）

事前準備

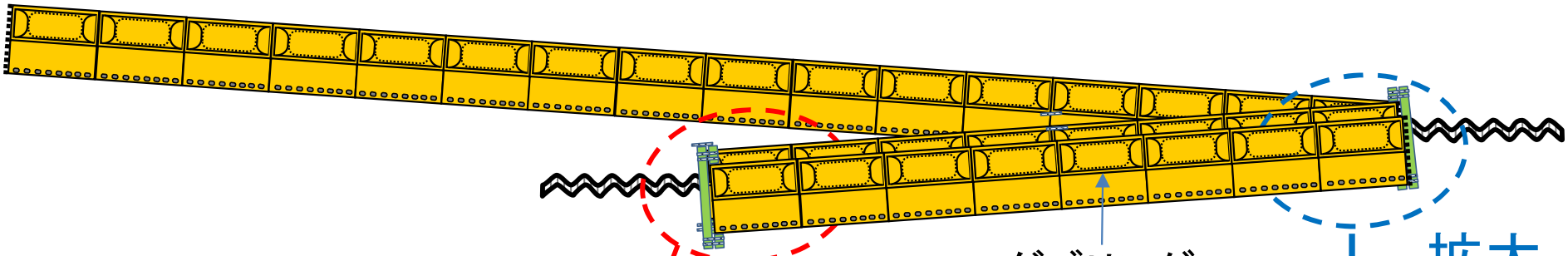
事前準備

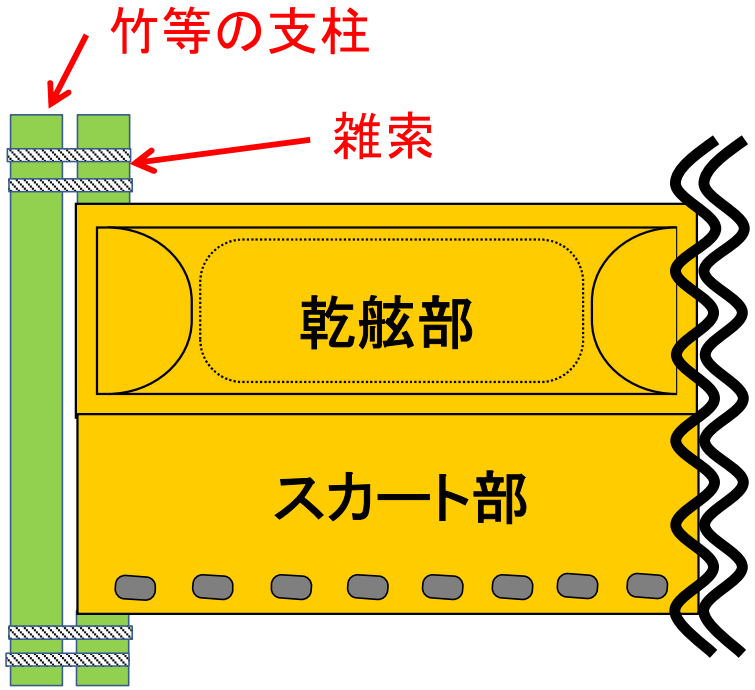
オイルフェンス両端を5mのところで折り返し、竹棒を3カ所ずつ設置した上、同所に固縛用ロープを付ける。（ロープの取付箇所は上方がよい。また取付けの外側内側に注意すること。※どちらもオイルフェンスの捩れ防止策）



※20m×3本の簡易オイルフェンスを連結

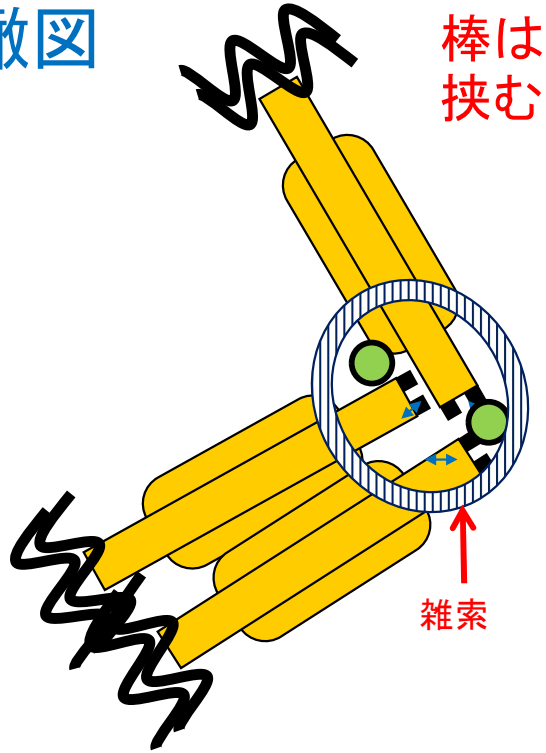
【詳細】折り返し部分



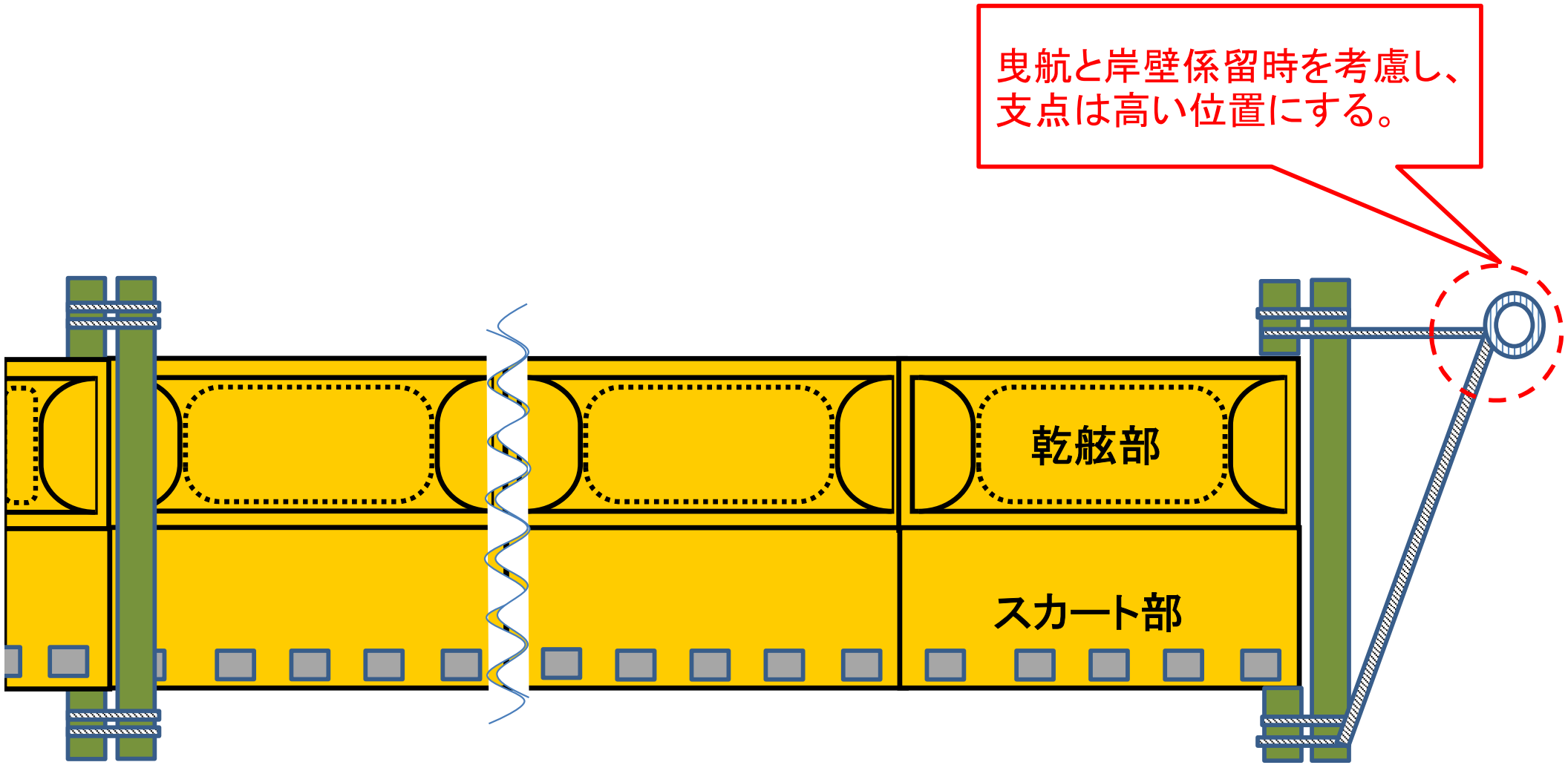


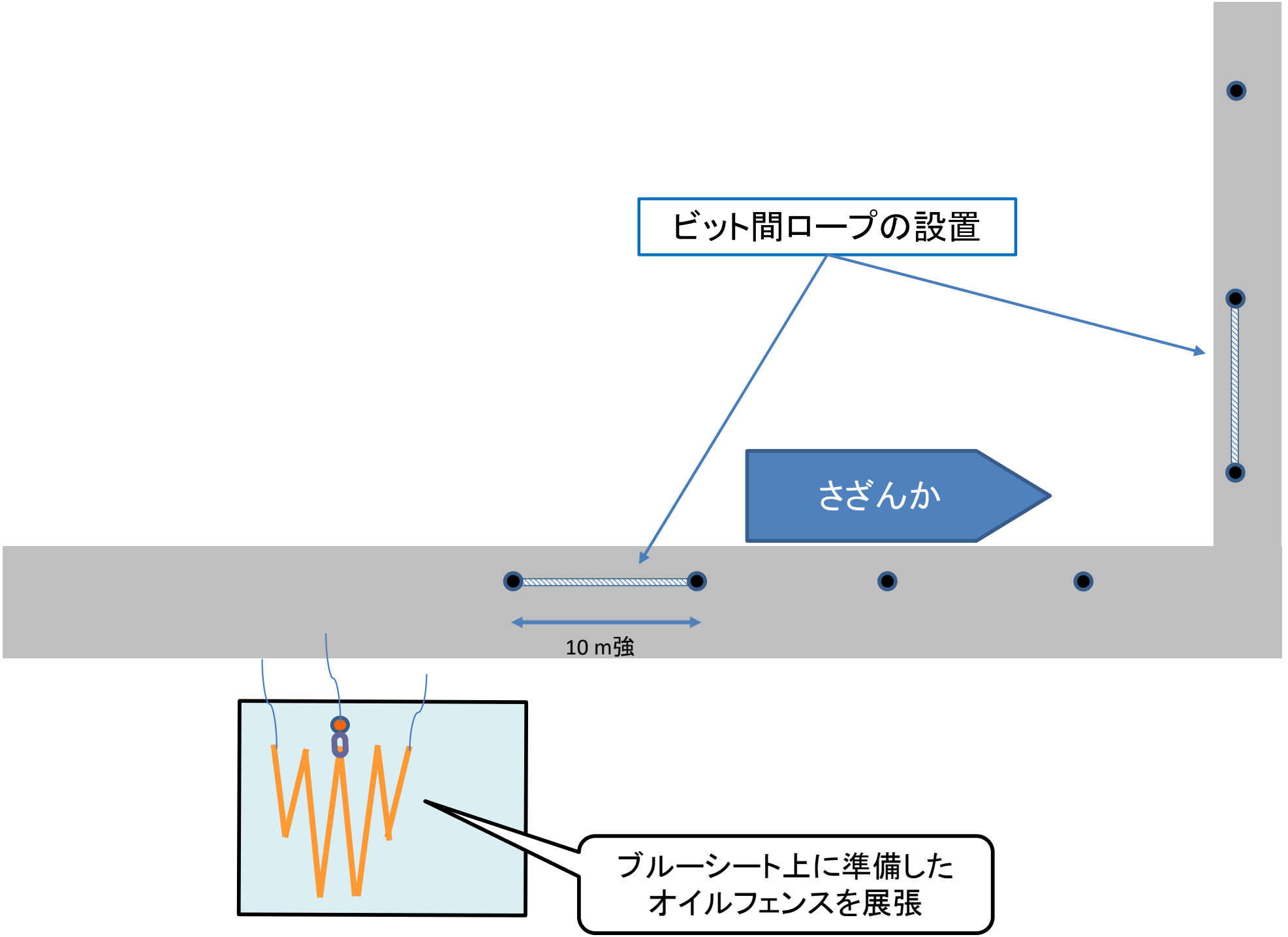
端は中と外で、中央部は両サイドで挟む。

俯瞰図

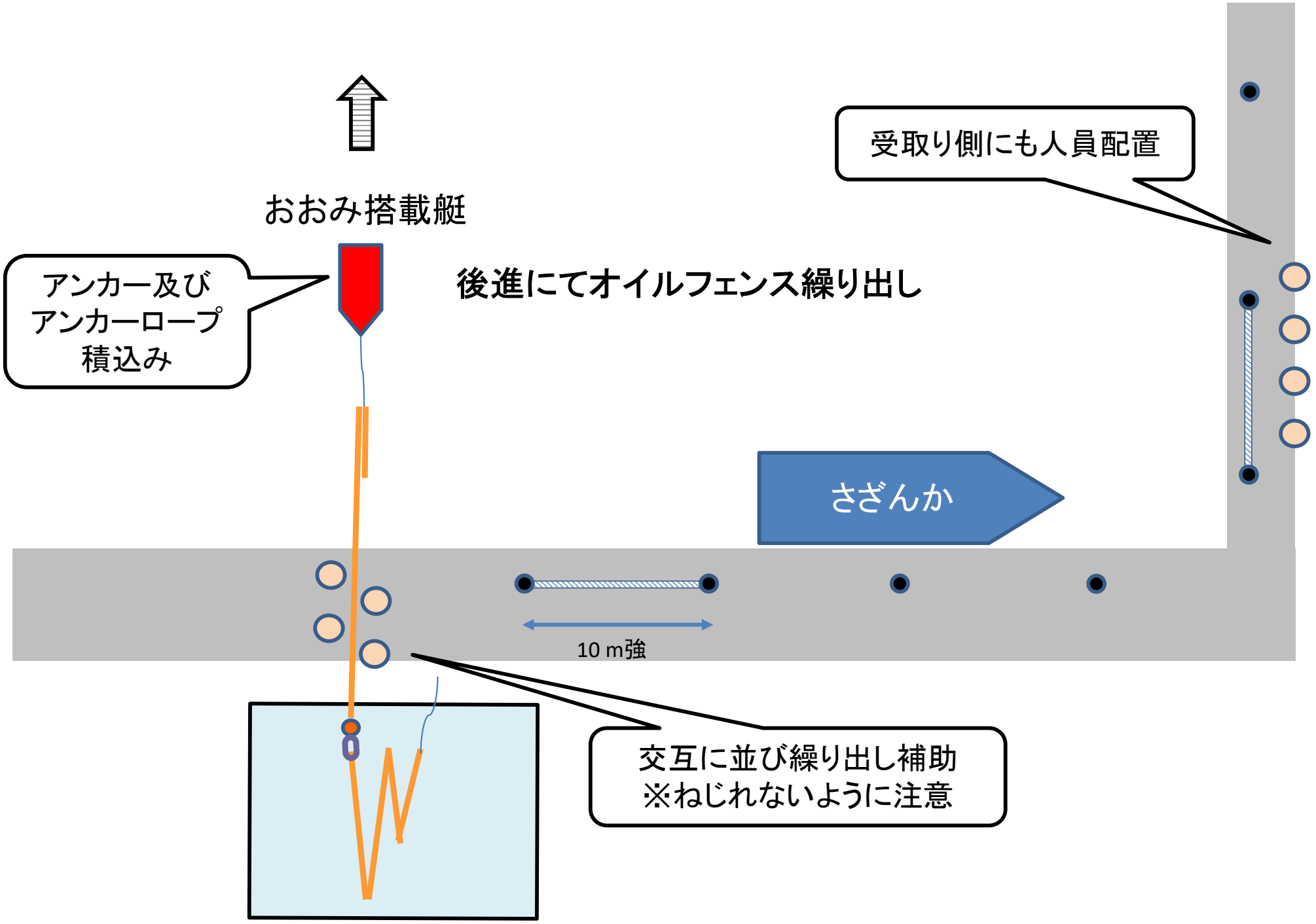


【詳細】折り返し部分の支点

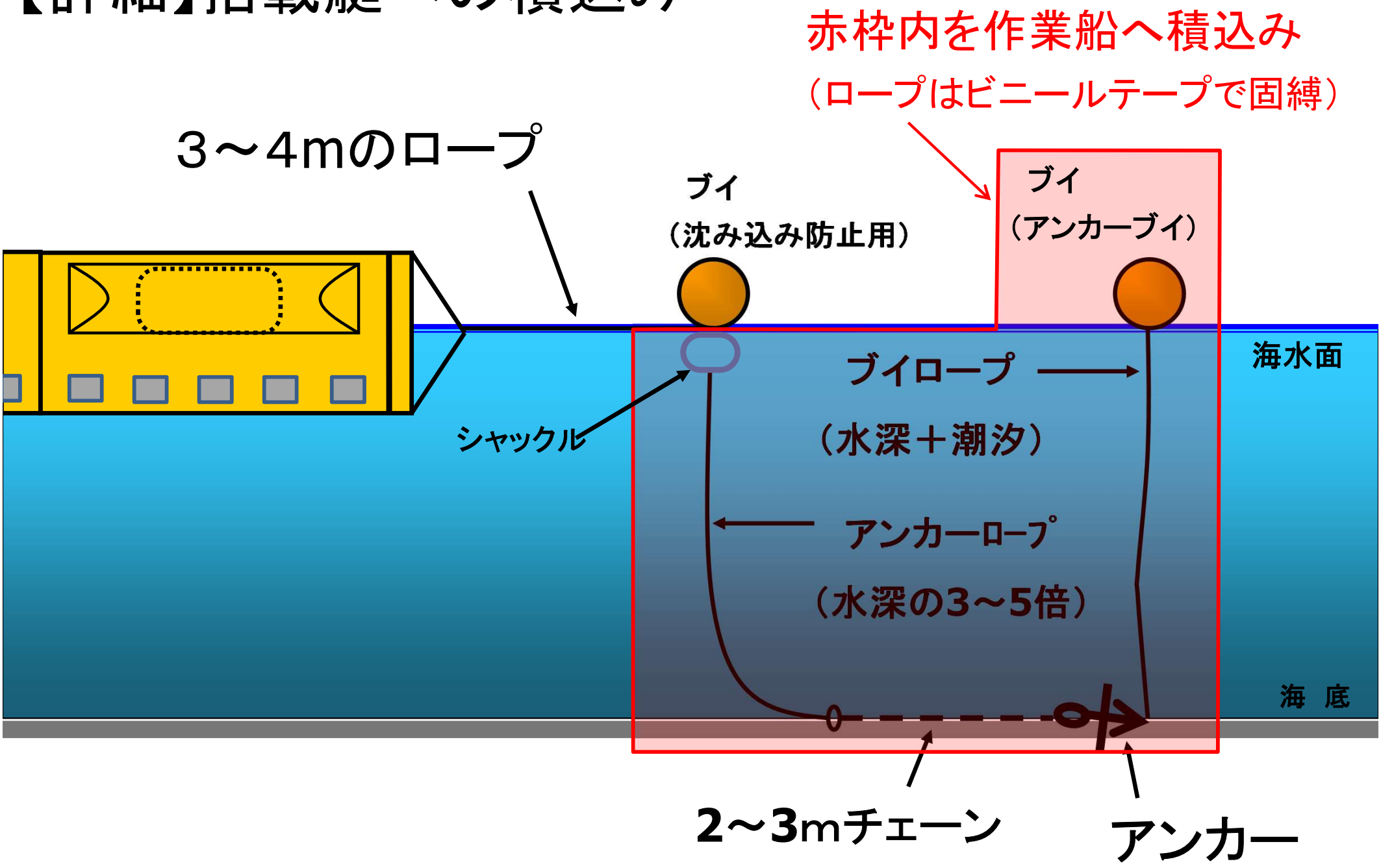



ビット間ロープの設置
さざんか
10 m強
ブルーシート上に準備した
オイルフェンスを展張

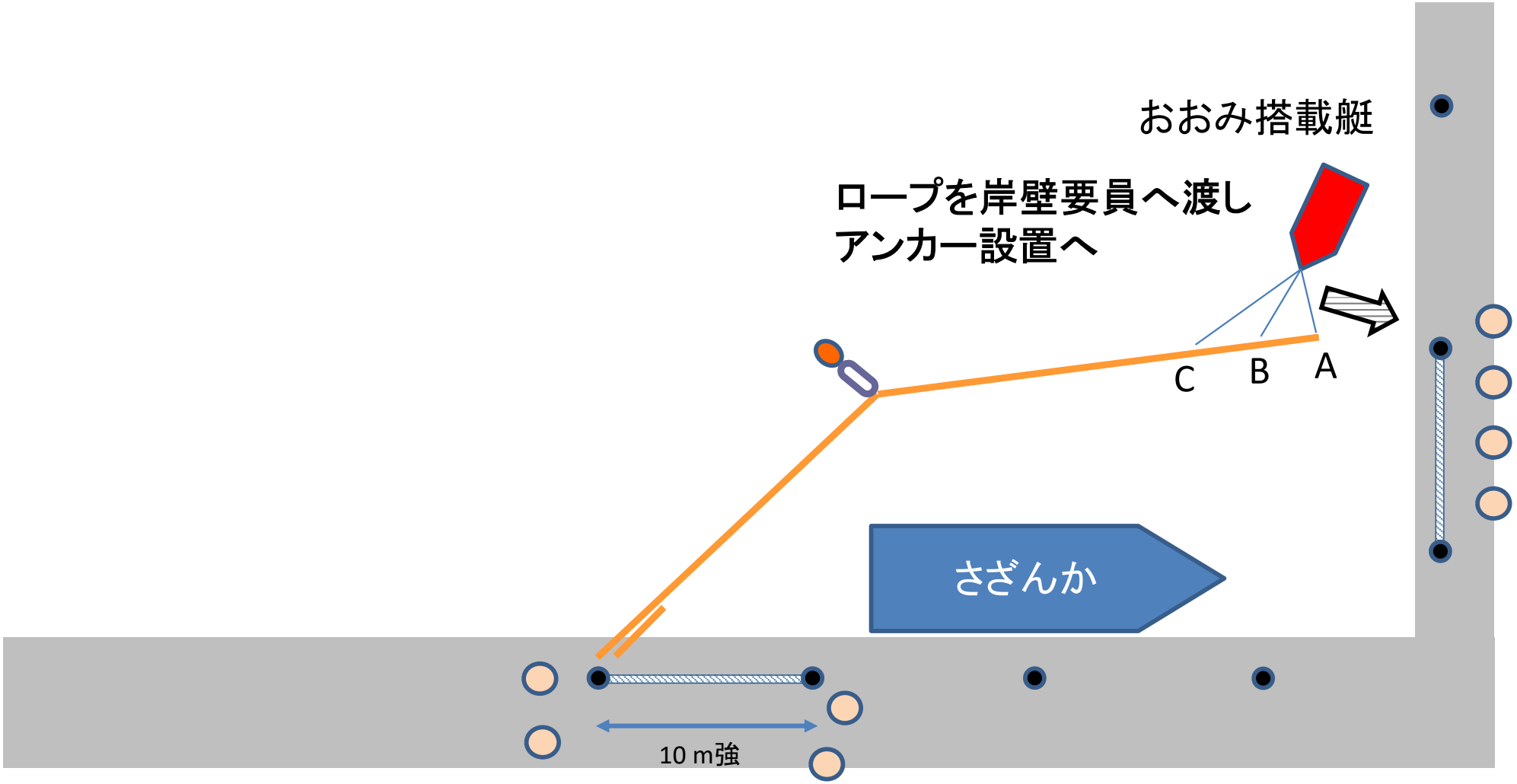
オイルフェンス展張

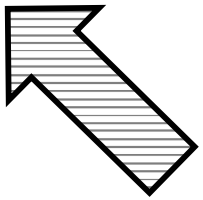

おおみ搭載艇
受取り側にも人員配置
アンカー及び
アンカーロープ
積込み
後進にてオイルフェンス繰り出し
さざんか
10 m強
交互に並び繰り出し補助
※ねじれないように注意

【詳細】搭載艇への積込み



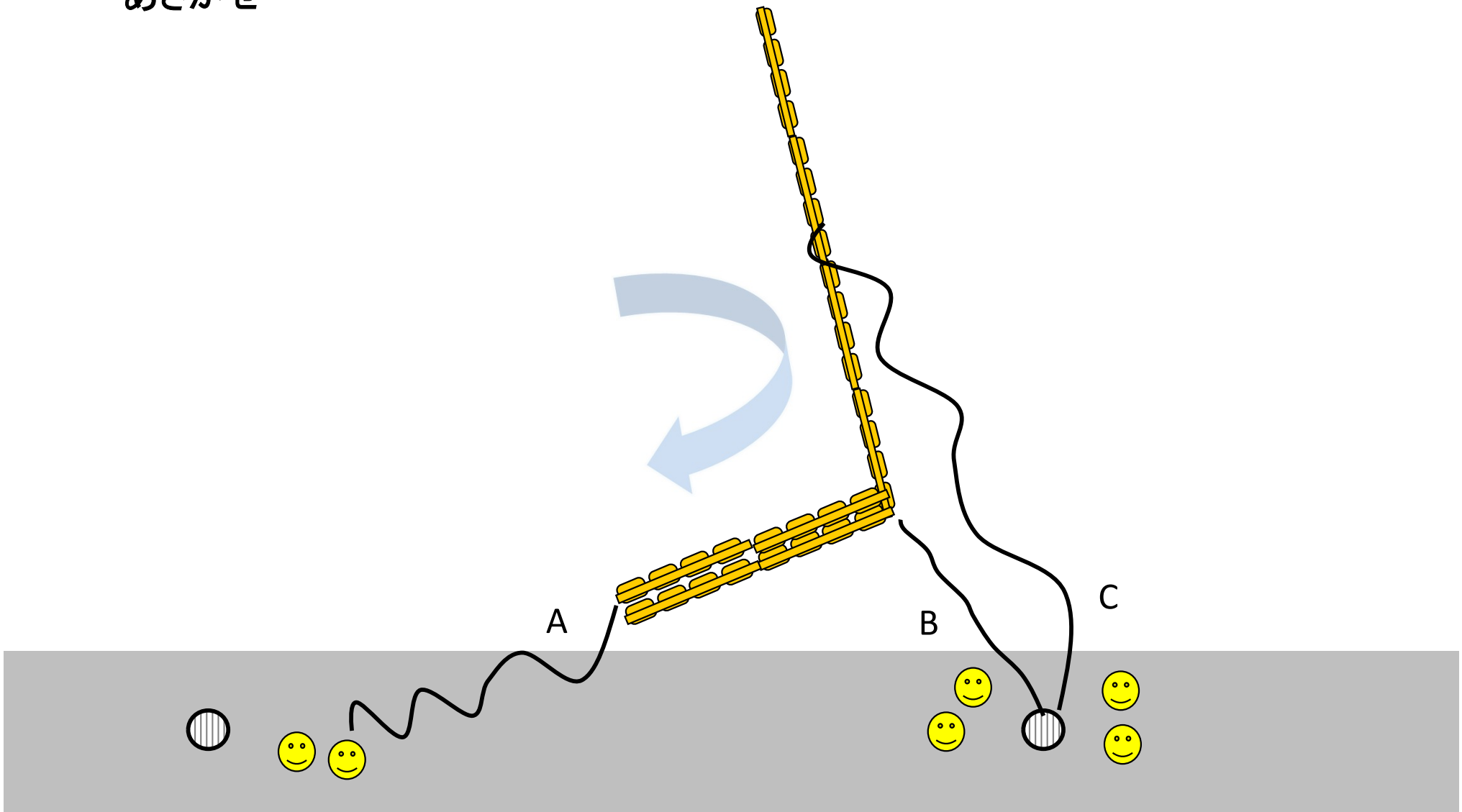
※　今回は訓練のため、チェーン省略、アンカーは10kg錘で代用


おおみ搭載艇
ロープを岸壁要員へ渡し
アンカー設置へ
C
B
A
さざんか
10 m強

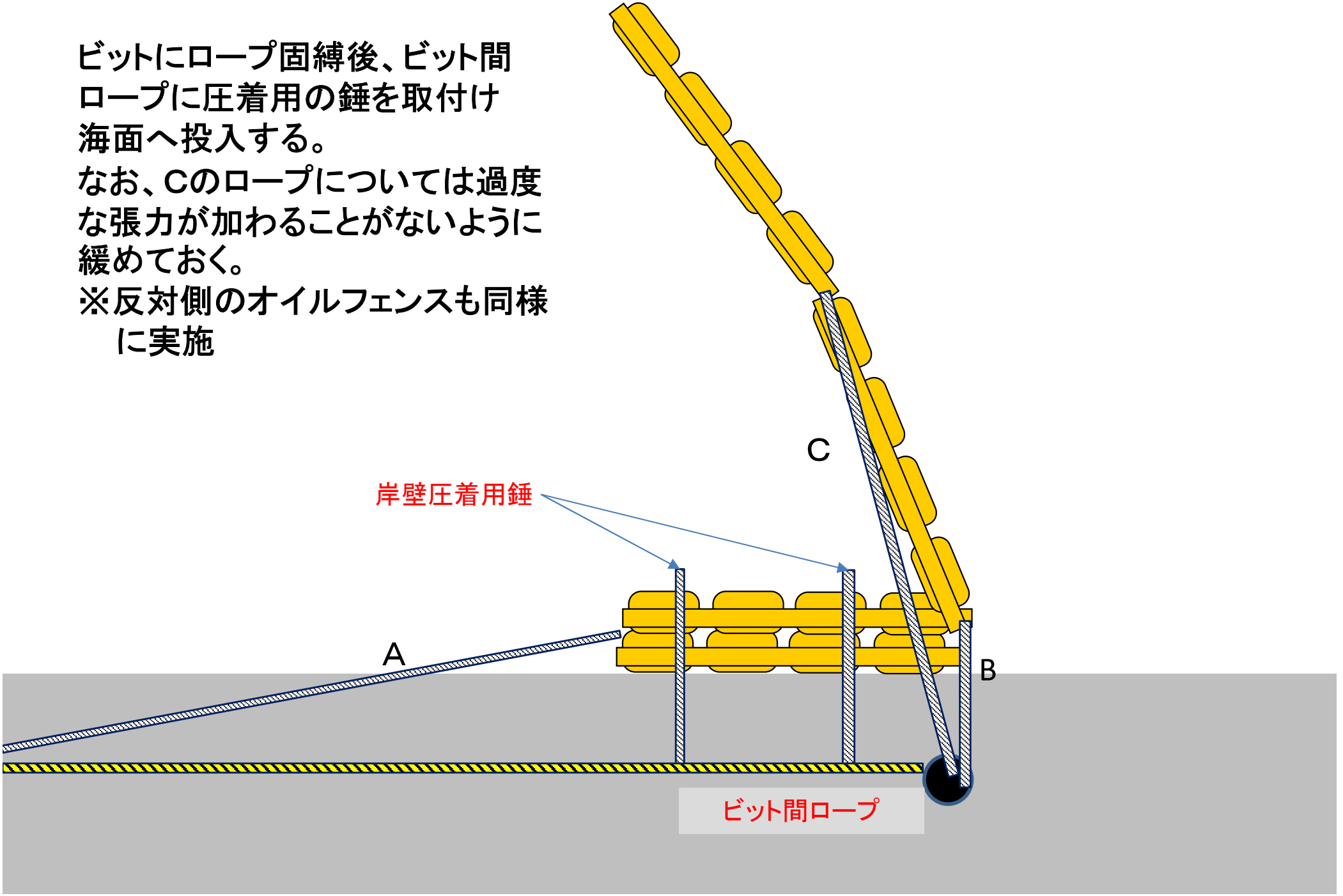


あさかぜ

ロープを受け取った訓練参加者は下記のとおり所定のビットへ固縛する

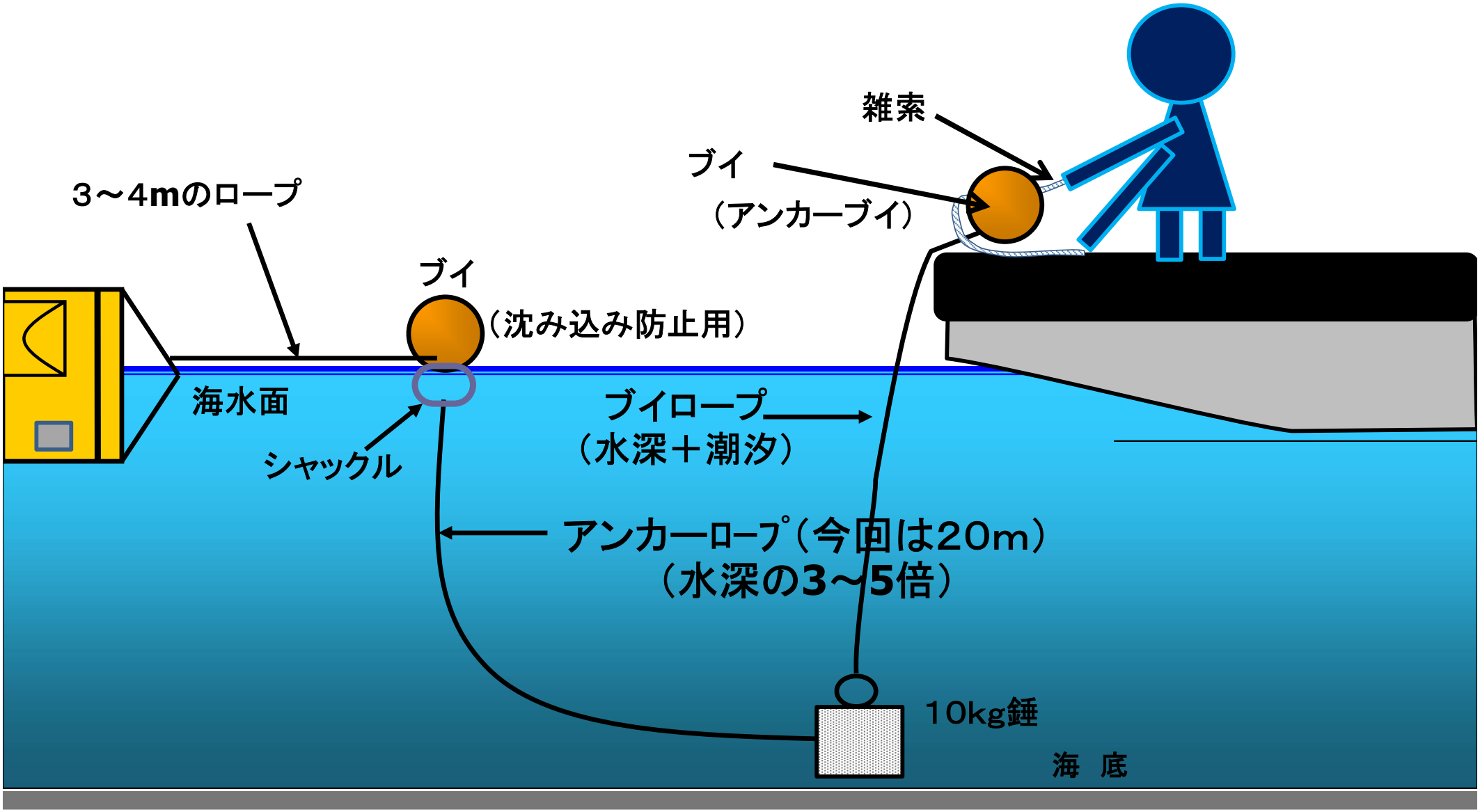


ビットにロープ固縛後、ビット間ロープに圧着用の錘を取付け海面へ投入する。
なお、Cのロープについては過度な張力が加わることがないように緩めておく。
※反対側のオイルフェンスも同様に実施

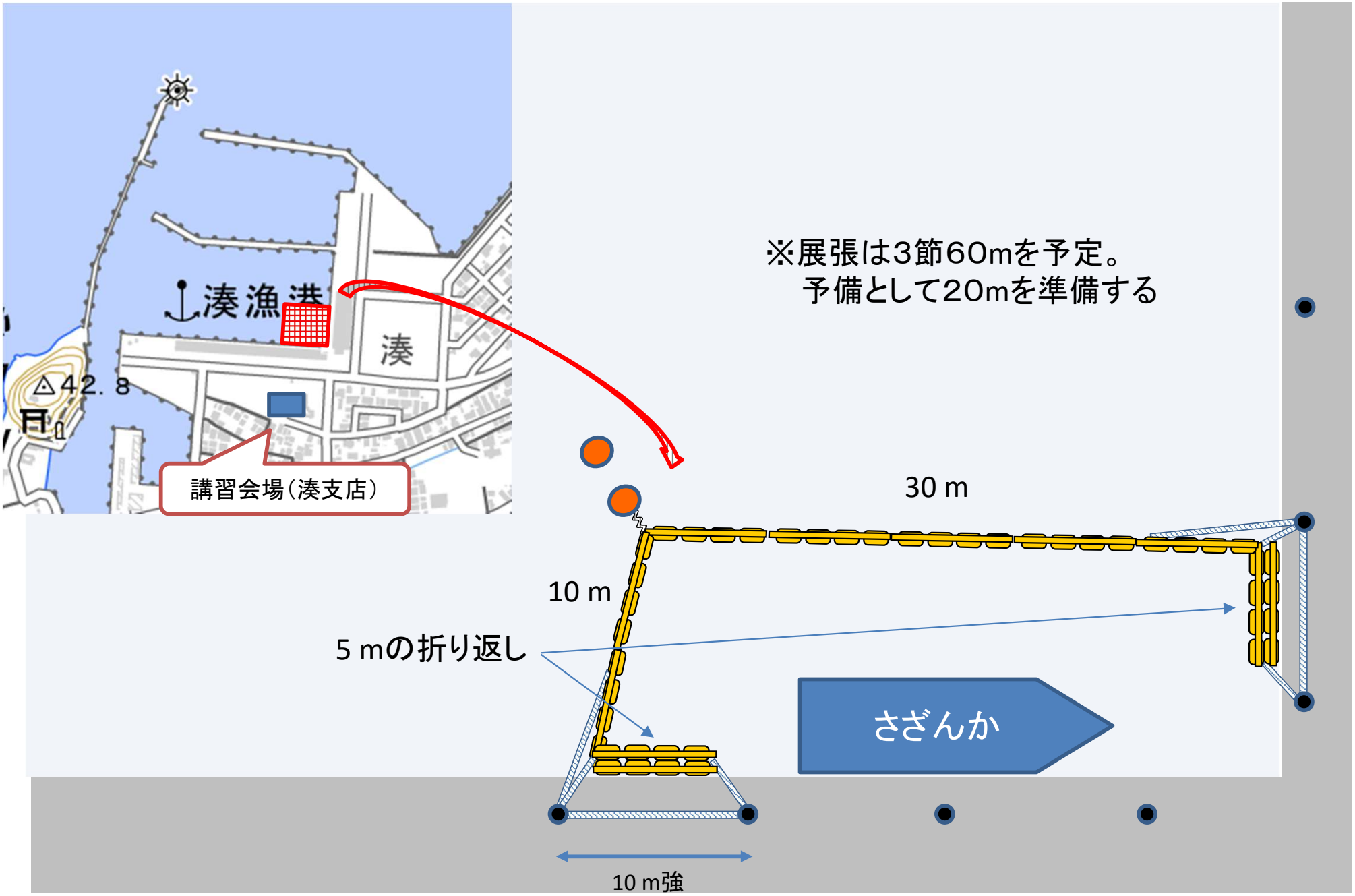


【詳細】 アンカー・ブイの設置

アンカーブイに雑索を引っ掛けて、後進にて延ばしたブイロープにテンションを掛けて、
アンカーを浮かせた状態とした後、指揮者の指示にてアンカーをレッコする。

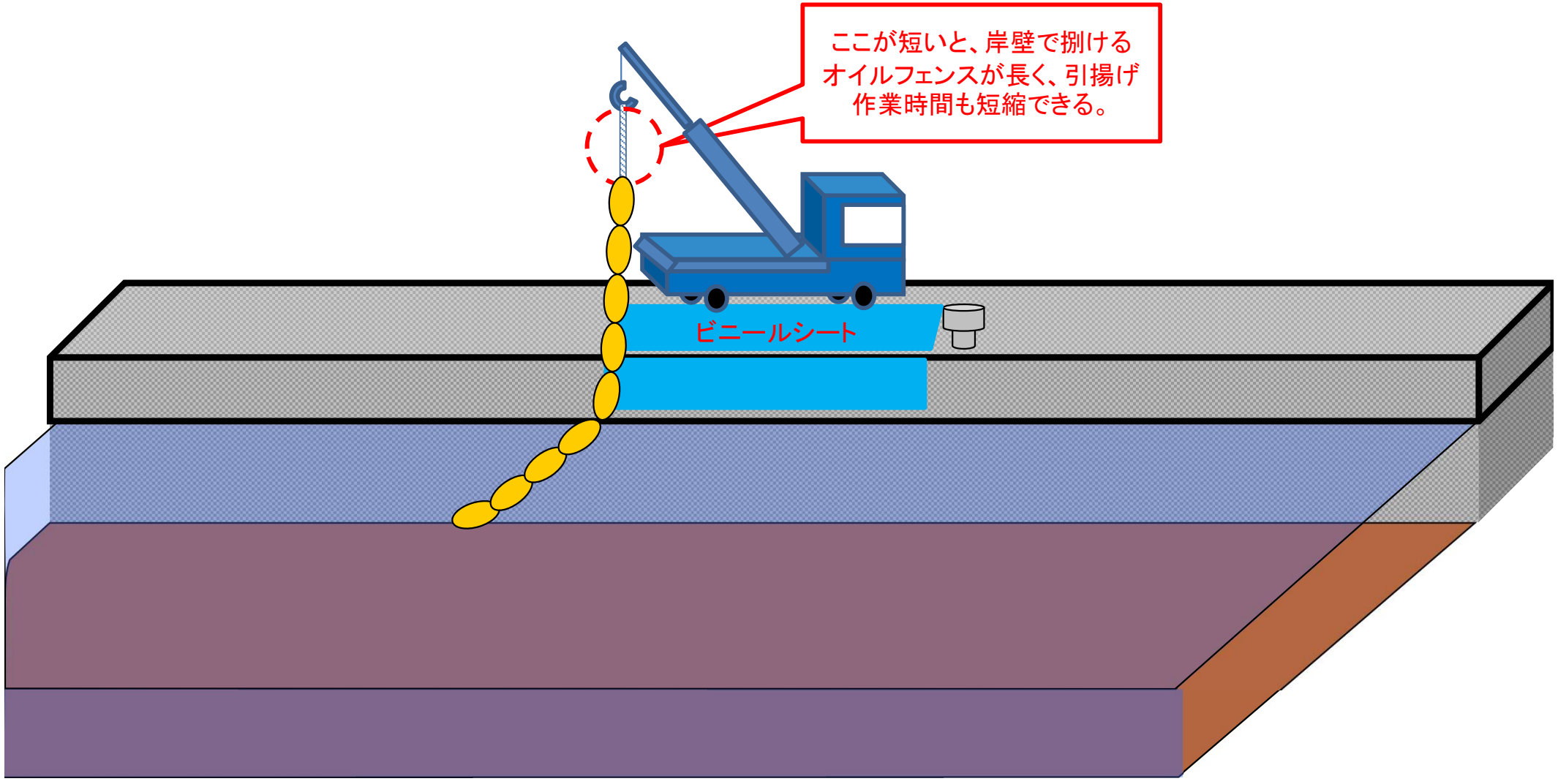


オイルフェンス展張完了図



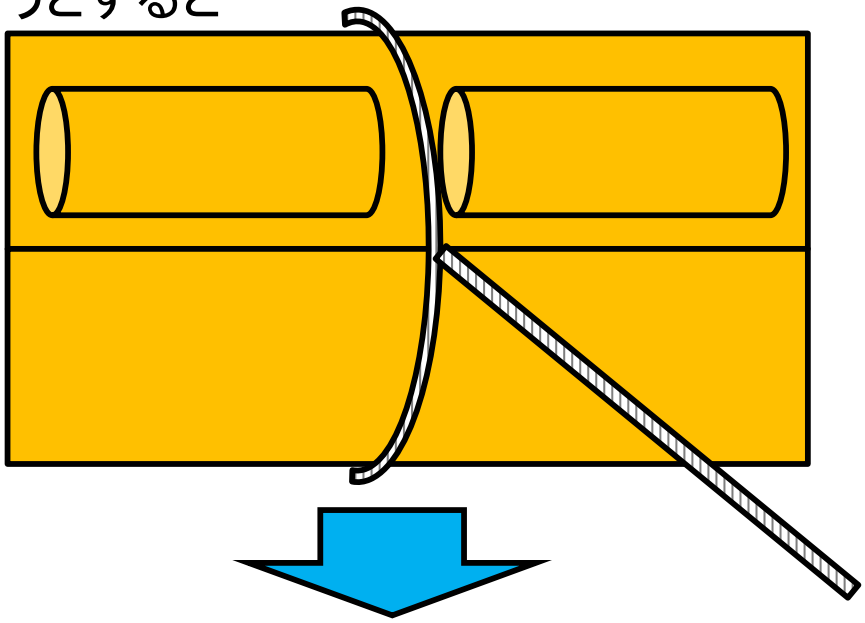
【補足】オイルフェンス引き揚げ

- 摺れ当てのビニールシートを敷き、岸壁側へ長めに垂らしておく。
- クレーン車は岸壁から3m程度の距離（ここで岸壁作業員が作業する）を空けて駐車する。
  なお、その際にはビニールシートを車輪で踏んで（岸壁側のみで可）、ビニールシートを固定する。
- クレーン車のフックが上がる高さには限界があるので、下図のとおり引き揚げ時の支点で使用するロープは可能な限り短くする。

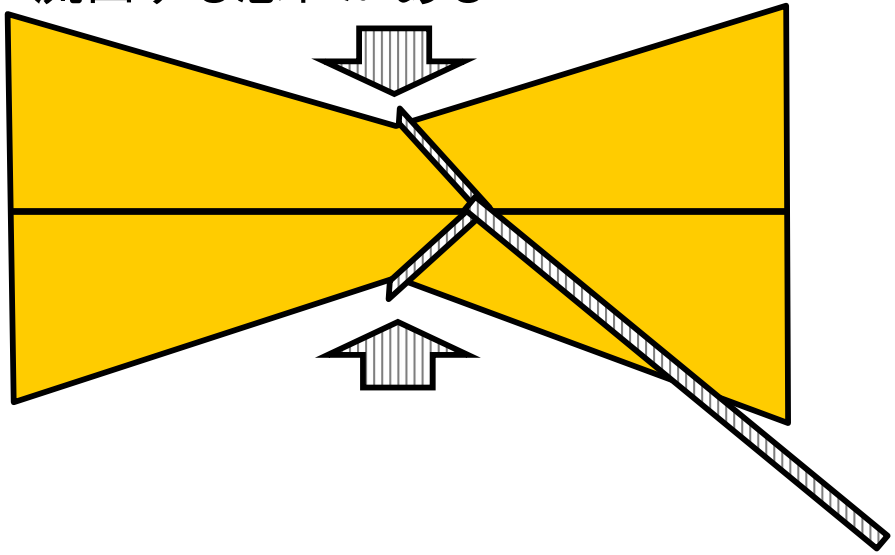


その他参考　オイルフェンス展張（失敗事例）

ただロープだけOFに大回しして引こうとすると・・・



「絞り込み」が発生し、隙間から油が流出する恐れがある





☆考えられる原因

➢人為的な作業

➢任意の箇所にロープを取り付けたい

ポイント1　　絞込み防止対策例









その他参考　オイルフェンス展張（失敗事例）

吊上がり

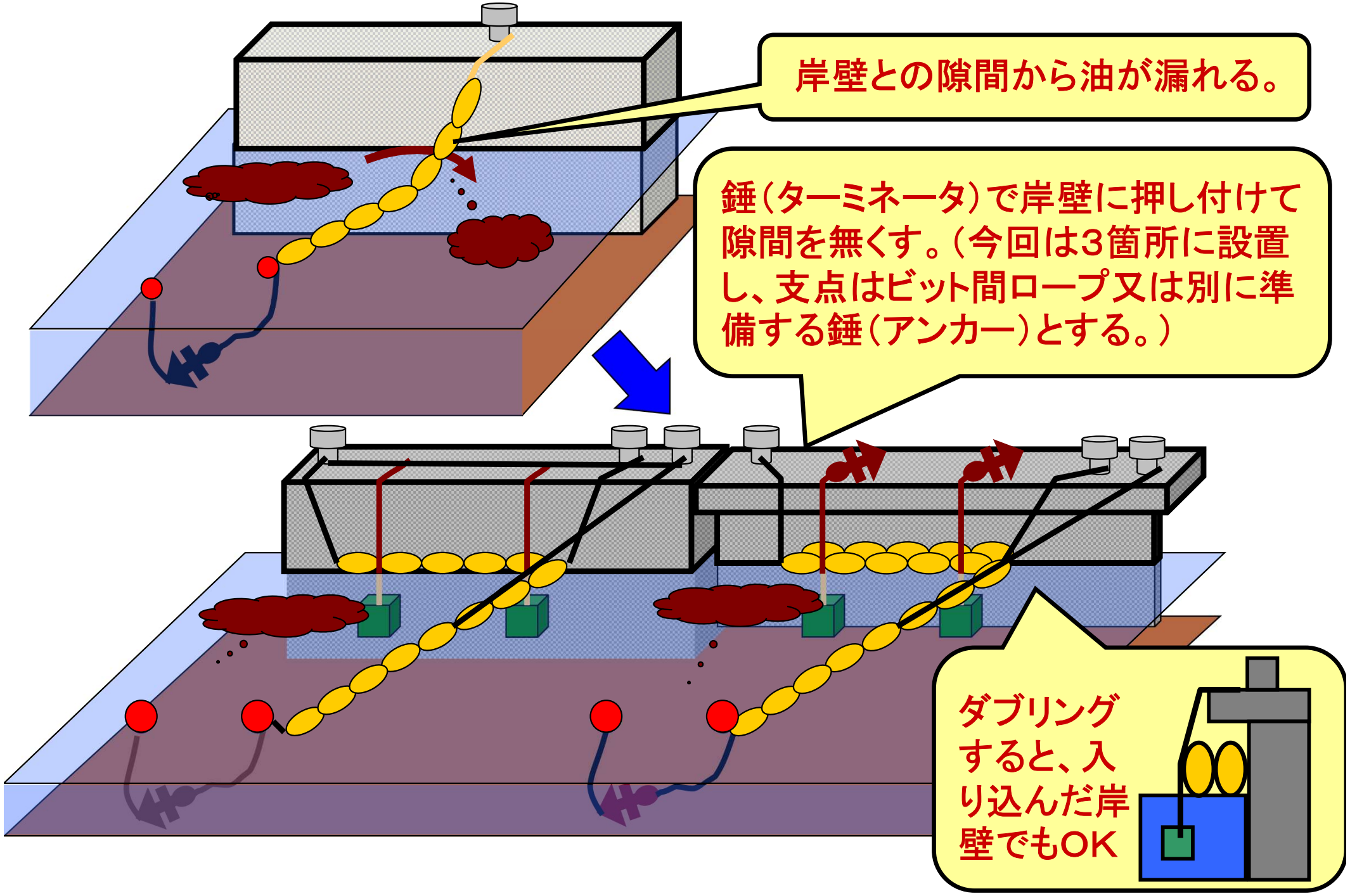
☆考えられる原因

- ➢潮の干満
- ➢フェンスの長さ
- ➢固定場所の選択





【詳細】 錘の設置（例）


岸壁との隙間から油が漏れる。
錘（ターミネータ）で岸壁に押し付けて隙間を無くす。（今回は3箇所に設置し、支点はビット間ロープ又は別に準備する錘（アンカー）とする。）
ダブリングすると、入り込んだ岸壁でもOK